

首相、民意と終始平行

安保法成立

集団的自衛権行使を可能にする安全保障関連法が19日に成立した。誤算と曲折の連続だった国会審議。第1次政権からの「悲願」を達成するため、安倍晋三首相は強気の姿勢を崩さず安保政策を最優先に掲げ続けた。日本を取り巻く安全保障環境の変化に対応するために防衛政策の転換を図るとの自らのかたくなな思いと、戦後の平和国家の姿を懸念する民意は最後まで交わることはなかった。舞台裏を振り返った。



安保関連法が成立し、記者の質問に答える安倍首相(中央)=19日午前2時25分、首相官邸

もきも 誤算続き 強気崩さず

▽後世
「首相に再挑戦したかいがあった」。首相は安保法成立後の19日、周辺にこう心情を漏らした。
集団的自衛権の行使容認は首相が2006年9月発足の第1次政権から表現を自指し「政治生命を懸けた課題」(自民幹部)にほかならない。成立の瞬間となった19日午

表層 深層

前2時18分の首相官邸の執務室。テレビを前にした首相は安堵の表情を浮かべた。一掃に見ていた菅義偉官房長官や官邸スタッフら一人一人と握手を交わした。
5月26日に衆院から始まった審議は、6月4日の憲法審査会に出席した憲法学者が口火を切る形で法案は「違憲」との批判が噴出した。7月26日には首相補佐官の「法的安定性は関係ない」との発言が飛び出し「世間には安保法制に負のイメージを与えた」(官邸筋)。「戦争法案」「徴兵制復活」といった反発が強まる中で衆議院の採決進行をめぐり内閣支持率は下落した。首相は「後世には必ず評価を得られる」と意に介しなかった。

▽助け舟
強引な国会運営だという批判をかわそうと狙ったのが、野党側との修正協議。期待した維新の党との進展が見込めない中、助け舟を出したのは野党が神経戦を演じた。
焦点は18日午後4時半すぎに始まった衆院本会議だった。左右するのは民主党の枝野幸男幹事長が行った内閣不信任案の趣旨説明の長さ。演壇

少政党の日本を元気にする会の井上義行副委員長だった。第1次政権で首相の腹心として政務秘書官を務めた。井上氏は9月12日に首相に電話した。自衛隊派遣の国会議を強化する方針を閣議決定するよう提案すると、首相は「まともなんだ」とゴーストを出した。
▽次は
首相は終盤、参院特別委や内閣不信任決議案などで何度も官邸と国会を往復した。大規模なデモによる抗議の音が耳に届いたはずだ。ベテラン議員は首相は日米安保改定時に「デモと対峙した祖父・岸信介元首相に思いをはせながら」反対されればされるほど燃えていると胸中を解説した。

18日の与野党攻防は日程闘争の様相を呈した。デモが盛り上がる連休前の決着を自指す野党と19日午前0時以降に法成立させて意地を見せたい野党が神経戦を演じた。
南シナ海の領有権問題で中国と対立するフィリピンのテロサリオ外相は19日、「国際社会の平和と安定、繁栄と」という共通の目標に向けて、日

に立つ枝野氏は「与党側による18日の法成立は困難に」との内容のメモが差し入れられた約10分後、1時間44分に及ぶ演説を終えた。枝野氏は終了後一局地戦では勝った」と強がった。
一時、民主内に参院審議を混乱させ、与党に衆院で再可決する「60日ルール」を使わして横暴ぶりを引き出す作戦を探る動きもあったが「参院の不要論につながり、自らの選挙でも有利にならない」と立ち消えに。
首相も視線の先は来年の夏

米歓迎、中国は批判

日本の安全保障関連法成立を世界のメディアは速報し、各国政府はコメントを発表。米國が歓迎する一方で中国は批判するなど評価は割れた。
米國務省は18日、「同盟を強化し、地域と国際的な安全保障上の活動において、より積極的な役割を果たそうとする日本の取り組みを歓迎する」と声明を発表。米国防総省も声明を出し、安保法制が4月に日米両政府が改定した防衛協力指針(ガイドライン)に沿っているとの見解を示した。

本との戦略的パートナーシップを強化していきたい」と歓迎する声明を発表。オーストラリアのピシヨップ外相も声明で日本との安保協力を深化させる考えを示した。
中国外務省の洪磊副報道局長は19日、「戦後日本の軍事・安全保障分野で、かつてない行動」と警戒を呼び掛ける談話を発表し、「日本は軍事力を強化し、専守防衛政策を放棄するのは国際社会の懸念を引き起こしている」と批判。中国官営通信の新華社は「日本は戦後の平和主義を破壊した」と速報した。

韓国外務省は19日、「平和憲法の精神を堅持し地域の平和と安定に寄与する方向で(防衛・安保政策を)透明に推進しなければならぬ」と従来の立場を反復する報道官論評を発表した。

「暴挙を忘れないで」岡田氏が街頭演説
民主党の岡田克也代表は19日、東京・銀座で街頭演説し、安全保障関連法が成立したことについて「国の在り方を根本から変える暴挙を安倍政権が力で押し通したことを忘れないでほしい」と訴えた。
共産党の志位和夫委員長は記者会見で「憲法違反の戦争法を廃止するため、安倍政権を退陣に追い込む」と述べた。

9/20
福井